

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	企業研究	
科目基礎情報						
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	スポーツビジネスコース		開設期	通年
対象年次	2年次	科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	4単位	授業形態	講義			
教科書/教材	毎回資料をプロジェクターで投影します。参考書・参考資料等は、授業中に指示します。					
担当教員情報						
担当教員	永野和雄		実務経験の有無・職種	無		
学習目的						
スポーツに関連する企業の多角的な研究を通じて、普段のニュースでは理解が及ばない企業の内情を理解します。 ケーススタディを通じて企業経営の抱える課題について多角的に考え理解する思考習慣を身につけます。 企業経営にまつわる問題について、自ら定式化し分析できるスキルを身につけます。						
到達目標						
1. 自らの進路を考える上で企業の内情、抱える課題を自ら捉えられるようにします。 2. 企業の抱える課題とその背景を理解した上でどのようにすれば解決できるのかを考えられるようにします。 3. 企業の限界を知り、自らの将来のキャリア形成を考えるためのきっかけにします。						
教育方法等						
授業概要	スポーツに関わる企業の最新のトピックスを事例に討議を進めていきます。「企業における収益構造」、「企業経営における課題と解決策」、「企業が失敗する共通のパターン」などのテーマについて、1 講義・話題提供、2 演習・課題作成、のサイクルで学習を進めていきます。					
注意点	学生間および教員とのコミュニケーションを重視します。課題や実習を通じて積極的に参加することで、授業そのものを主体化してください。情報に敏感になり世の中の動向を観察することで、広い文脈からこの科目で学んだことを結びつけて考えましょう。なお、授業時間数の4分の3以上を出席しない学生は定期試験を受験することができません。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価します。			
	平常点	20%	積極的な授業参加、授業態度、授業への貢献によって評価します。			
	出席率	10%	授業への出席回数、遅刻の回数を評価に加味します。（授業時間数の4分の3以上の出席が前提）			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	ケーススタディの進め方		ケーススタディを進める上で見るべきポイント、情報収集方法、分析手法などを理解します。			
2回	ケーススタディの方法論		具体的な分析と事象の背景にある事柄をどのように見極めるかを理解します。			
3回	ケーススタディの分析と討議1		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
4回	ケーススタディの分析と討議2		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
5回	ケーススタディの分析と討議3		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
6回	ケーススタディの分析と討議4		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
7回	ケーススタディの分析と討議5		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
8回	ケーススタディの分析と討議6		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
9回	ケーススタディの分析と討議7		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
10回	ケーススタディの分析と討議8		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
11回	ケーススタディの分析と討議9		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
12回	ケーススタディの分析と討議10		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
13回	ケーススタディの分析と討議11		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
14回	ケーススタディの分析と討議12		スポーツに関連する企業を中心としたケーススタディにより、企業の内情を探り包括的に理解します。			
15回	企業経営の未来と自分のキャリア		企業の限界を理解した上で自らのキャリア形成についての重要ポイントの理解と再確認をします。			